

Hirodai TA 公開セミナー第1弾【リフレクションの理論と実践】を開催

TA サポートデスク

ティーチング・フェロー (TF) 後藤 孔

(大学院教育学研究科 博士後期課程1年)

平成29年6月20日、広島大学TAサポートデスクではティーチング・フェロー(TAの種類)や若手教員を主な対象に「Hirodai TA 公開セミナー 第一弾」を開催しました。東北大学高度教養教育・学生支援機構の今野文子先生をお迎えし「リフレクション*の理論と実践—効果的な Teaching and Learning のために—」について講演いただきました。今回のセミナーでは、リフレクションの定義や理論モデルが紹介され、特にGibbsの「リフレクティブ・サイクル」というリフレクションモデルが印象的でした。

この「リフレクティブ・サイクル」によると、リフレクションの際に「描写(Description)→感情(Feelings)→評価(Evaluation)→分析(Analysis)→結論(Conclusion)→行動計画(Action Plan)」のプロセスを循環させると、より良い学習効果が得られるとされています。しかし、実際のリフレクションでは、学生が「描写」や「感情」の段階で止まってしまい、十分な振り返りが行われなことがしばしばあります。単に学生に「リフレクションしましょう」と促すのではなく、このモデルに沿って全過程を循環させることも大事だと、実践的に役立てられる内容を聞くことができました。

本セミナーの参加者を対象に実施したアンケートでは「自身の研究にも役立つ」「リフレクションを促す質問は具体的に何か」等の振り返りが見られ、学びと教育の両面性を意識した“リフレクション”を参加者が早速実践していることにも気がつきました。

*リフレクション・・・経験に基づいて振り返る行動、内省



写真：セミナーの様子